

【演習】

「災害派遣福祉チームを考える」

華頂短期大学
武田康晴

はじめに

本日のセミナーでは、午前中の基調報告を踏まえ、午後からは西日本豪雨被災地である岡山県の事例について、県内派遣となった岡山県DWATの活動、また県外からの応援派遣として岩手県、京都府、静岡県、群馬県、青森県からの報告を聞きました。

セミナー参加の皆さんは、立場は様々ですが、それぞれの都道府県で災害派遣福祉チームを組成し、実際に有効な活動が可能なチームを構築していこうという共通の思いを持っていることかと思えます。また、県外派遣となれば、行って・来て(支援と受援)の相手となる可能性があります。

セミナー最後の時間は、有効な意見交換の場、ヒントを得る場、連携相手と出会う場として活用してきましょう。 2

意見交換の手順(簡単なルール)

1. 与えられたテーマごとにグループで意見交換をします。
2. 誰かの意見を否定したり中傷することは禁止です。
3. 各意見について、付箋紙にキーワードやキーセンテンスを書き残して下さい。※テーマごとに色を変える(順番)
4. 付箋紙を参考に後で「グループ発表」をします。
5. 一度の発言時間は2分以内を目安とし、なるべく多くの人が発言できるように配慮して下さい。
6. ファシリテーターは、全ての人が意見を言えるように気を配り、活発な意見交換を促して下さい。

3

テーマ① 災害派遣福祉チームについて

最初のテーマは「災害派遣福祉チームについて」です。

前半の報告内容を聞いて感じたこと、考えたことから話を始めて宜しいですが、各都道府県の現状や課題は「テーマ②」で扱いますので、まずは、印象に残ったキーワードやエピソード、災害派遣福祉チームの活動について思ったこと、チームを構築する上で必要だと考えられることなどについて意見を出し合ってください。

※キーワードを付箋紙に記入するのを忘れないで下さい。

4

テーマ② 各都道府県の現状と課題

次のテーマは「各都道府県の現状と課題」です。

「テーマ①」で意見交換した内容、前半の報告も踏まえ（被災する、派遣する、を想定）、**災害派遣福祉チームの組成、登録・養成研修の状況、有効なチームを構築する際の現状と課題**について意見交換して下さい。

尚、課題を是正した例や解決に向かうアイデア提供など、建設的な意見交換になるように意識して下さい。特定の団体等への不満を発言することは構いませんが、解決策も合わせて考えるようにして下さい。

5

テーマ③ どんなチームを作りたいか

最後のテーマは「どんな災害派遣福祉チームを作りたいか」です。

福祉チーム構築の事務局を担う皆さんが、どんなチームを作りたいか、つまり「理想のチーム像」をイメージすること、県内で災害が起こった際にどんな活躍をするチームを作りたいか、**明確なビジョンを持つことは非常に重要**です。

都道府県によって状況は異なると思いますので、それぞれの状況を踏まえて、**それぞれの目指すべき理想のチーム像と、それを構築していくために必要な方策**について有意義な意見交換をして下さい。

※しつこいですが、キーワードを付箋紙に記入して残して下さい。

発表（意見交換した内容を共有）

発表はポスターセッション方式を用いて、全てのグループが各テーブルで実施します。

発表者（ファシリテーター）をテーブルに残し、その他のメンバーは他テーブルに一人ずつ散らばり、他グループの発表を聞いて質疑応答に参加します。

その際、後で自グループに戻って情報共有をしますので、必ずメモを取りながらセッションに参加してください。

それでは、メモを持って移動してください。

7

発表内容の共有

自分のテーブルに戻り、自グループの発表と質疑を確認し、他グループの発表内容で特に興味深かった意見や質疑について共有します。

また、発表や質疑を通じて、新たな視点や気づきがあれば、キーワードを付箋紙に記入して模造紙の上に追加して下さい。

8

おわりに

これで演習は終了です。有意義な意見交換の場となりましたでしょうか？

私の専門とするソーシャルワークでは、専門性は、専門職としての価値観、知識、技術からなると言われます。価値観とは「何を大切にするか」であり、そのために知識と技術を磨きます。刀に例えれば、良く切れる刀(知識と技術)を磨いて何を切るか、すなわち**価値観が最も重要**ということです。

災害派遣福祉チームの構築にも共通点があると思います。事務局もチーム員も**しっかりとした価値観を持ち、災害時に役立つ知識と技術を磨くことが重要だ**と思います。

ありがとうございました。